

# 平成17年度舟入高等学校SELHi研究開発中間報告会 研究授業指導案

教 諭 佐々木 百合子

1. 授業名 『英語Ⅱ』
2. 期 日 10月28日(金)
3. 時 間 4 限
4. 場 所 東棟3階 304号教室
5. 対 象 2年10組 18名(普通科・国際コミュニケーションコース)
6. 内 容 プチ国際会議
7. 教 材 『Crown English Series Ⅱ Lesson 6 "Singlish Bad; English Good"』(三省堂)
8. 背 景

## (1) 教材観

『ユーロ・スコラ』に参加した時、海外の高校生と英語を媒介にしての意思疎通がうまく出来なかったことの原因の一つが教材を通じてわかった。それをきっかけに生徒は英語の多様性に興味を持った。『プチ国際会議』を通じて、「音読」をベースに「スピーチ作り」「暗誦」「即興」の力を養成出来ると考えられる。

## (2) 生徒観

英語のみならず国際的事象に興味、関心を持つ生徒が多く、授業は積極的な態度で臨む。ユーロ・スコラの経験が彼らの自己表現に非常に役に立っている。その経験を持続し、英語力として昇華させるべく、「シャワーを浴びるがごとく」英語に触れさせたい。この信念のもとに、毎時「音読」「暗誦」「シャドーイング」「中抜きプリント」等で英語発話の訓練を重ねている。

## (3) 指導観

本コースは『英語で議論できる発信能力の育成』を目標の一つとしている。そのため、日々の授業での音読、暗誦に重きを置いている。今回は論理的思考力の養成も心がけている。本時は、ユーロ・スコラでの経験を生かして「音読」「スピーチ作り」「暗誦」「即興」の成果を発表する。

## 9. 学習指導計画

| 時     | 学習内容・学習活動           |
|-------|---------------------|
| 1 ～ 4 | テキスト(Lesson6)の内容把握  |
| 5 ～ 7 | 発表の概要説明、及び資料収集、原稿作り |
| 8(本時) | 発表『プチ国際会議』          |

## 10. 本時案

### (1) ねらい

- ① 世界各国で使用されている様々な種類の英語の起源、特徴などを学ぶ。
- ② 『プチ国際会議』で自分達の意見を理論的に発表する。
- ③ 相手の発表内容を理解し、質疑応答する。

### (2) 準備物

- ・VTR
- ・各国の旗
- ・カセットデッキ
- ・地球儀

(3) 学習過程

| 流れ  | 時間  | 活動内容  | 指導(○)と評価(◎)の留意点                                       |
|-----|-----|---|---|
| 導入  | 5分  | ・Opening speakerによる本時の内容紹介  | ○このような発表をすることになった経緯を説明する。<br>○聴衆に問題点を提起する。            |
| 展開  | 40分 | ・発表<br>インド<br>シンガポール<br>ジャマイカ<br>ニュージーランド<br>マレーシア<br><br>・発表に関する質疑応答 | ◎時間内に自分たちの発表を終えるようにする。<br>◎はっきりと、大きい声で自然に発表するように努力する。 |
| まとめ | 5分  | ・Closing speakerによるまとめ  | ◎発表を通じて何を感じたか、「今」を生きている私たちは何をすべきかをまとめる。               |